

2022年度 事業報告書

法人の名称 認定特定非営利活動法人 子どものための国際音楽交流協会

○はじめに

今年も新型コロナウイルスの世界的蔓延のために 2022 年度事業計画は様々な面で活動が制限されました。特に海外事業では現地に行くことが全くできず、国内での大使館との交渉など可能な部分での活動にとどまらざるを得ませんでした。ここではコロナ禍で実施した楽器の収集と寄贈事業及びそれを支える組織の運営などについて活動実績をまとめ、合わせて

次年度活動の課題を明らかにします。

I. 事業方針

学校や自治体、企業や地域と連携し、使われないでいる楽器の収集と寄贈および国際平和支援に関する事業等を行い、子どもたちの音楽教育推進と世界平和の進展に寄与する。

II. 事業内容

1. 楽器の収集（国内における楽器の収集）

①公立小中高等学校における収集活動

教育委員会やPTA、生徒会などとの連携による活動

- ・時期：2022 年度中
- ・場所：神奈川県南足柄市、二宮町、小田原市、平塚市、松山市、千葉県流山市等
- ・従事者：3 人
- ・支出額：4,210 円

②全国各地での団体、個人、企業での収集活動

- ・時期：2022 年度中
- ・場所：各地 * 太陽生命全国 155 支社が協力
* ほかに各地の個人から寄贈
- ・従事者：2 人
- ・支出額：0 円

③全日本障害者レスリング連盟発足記念プロレスでの楽器収集

- ・内容 アフリカ写真展
駐日タンザニア大使館参事官、駐日マラウイ大使館副大使 1 等書記官招待
開成ジュニアジャズアンサンブル招待／小学生 18 人の演奏
アイメック PR 用チラシ 1000 枚無償供与（内 600 枚を会場にて配布、残保管）
- ・楽器収集 トランペット 3 台、ギター 2 台、鍵盤ハーモニカ 1 台
- ・時期；12 月 11 日
- ・場所；小田原アリーナ、サブアリーナ
- ・観客数；600 人
- ・従事者；6 人
- ・支出額；611 円

④解決した課題

- ・楽器の取扱い数の増加に伴い在庫管理を正確で機能的に行う方法の確立

⑤残された課題

- ・遠隔地で収集された楽器の輸送と保管についての制度確立

2. 楽器の寄贈（海外への楽器の寄贈及び音楽教育支援）

1) 楽器の寄贈

①大使館経由の楽器の寄贈

- ・内容：駐日ボツワナ共和国大使館及び駐日ウガンダ共和国大使館の訪問と本部来訪寄贈品；鍵盤ハーモニカ 各6台
- ・時期：7月27日
- ・実行委員長；平岡会員、副実行委員長；佐野会員
- ・従事者：函嶺白百合13人、都内高校生4人、大人5人

②コンゴ民主共和国出身で大井町在住のムルアカ氏を通し楽器寄贈

- ・内容：鍵盤ハーモニカ10台、リコーダー4本など
鍵盤ハーモニカ用の布製の袋ケース作成（製作者；鈴木衛理歌&ネコノテボランティア）
- ・時期；7月
- ・実行委員長；平岡会員、参加者；竹田会員

③ウガンダ共和国への楽器寄贈

- ・内容：鍵盤ハーモニカのパーツ（マウスピース20個、ホース15本）及びトランペット1台を寄贈
- ・時期：10月
- ・従事者：1人（プロカメラマンでAIMEC会員の山形豪氏訪問時持参）

④モザンビーク共和国向けトライアル出荷

- ・内容：鍵盤ハーモニカ30台、リコーダー26本
日本植物連合／合田社長持参
- ・時期：10月
- ・従事者：3人

⑤モザンビーク共和国への楽器の寄贈

- ・内容：鍵盤ハーモニカ、リコーダー、トランペット、トロンボーン、ユーフォニウム、ホルン、ドラム、キーボード、等
- ・時期：11月9日
- ・従事者：20人

●楽器寄贈支出額；24,608円

⑥課題

- ・不安定な世界情勢下における海外輸送方法の創意工夫
- ・楽器寄贈先との情報交換や協力体制の維持発展
- ・国内楽器寄贈者への活動報告

2) 音楽教育支援

ウガンダの音楽学校 AMFU への派遣留学した池田麗里香さんへの支援

- ・従事者：2人
- ・支出額；82,000円

3. 楽器管理及び交流と教育支援活動

1) 楽器の点検、クリーニング

青少年ボランティア参加による楽器点検、クリーニング

- ・内容：AIMEC本部での湘南工科大学附属高校生による楽器の機能確認とクリーニング
- ・時期：2022年8月
- ・従事者：4人
- ・支出額：0円

2) 地域の文化祭や産業展等行事への参加

①南足柄市姉妹都市交流会『国際ひろば』に参加

- ・時期；11月19日
- ・場所；南足柄市中部公民館
- ・従事者；2人
- ・支出額；0円

3) ICTを活用した海外との交流

楽器寄贈事業と関連付け、海外寄贈先との交流活動を実施した。

①ウガンダの音楽学校 AMFU へ派遣留学中の池田麗里香さんが NHKE テレ出演を機に番組の中で現地の子どもたちと楽器寄贈者がインターネット中継で交流を実施

②SPLASHによるセッション音楽学校との交流実施（竹井国子氏経由）

- ・時期；9月14日
- ・従事者；3人（SPLASH長田、平岡会員、竹田会員）
- ・支出額；0円

4) 青少年対象の国際理解促進事業の推進

①本部でのサマーセミナー開催（インターン研修）、AIMEC会員の小谷小田原市議のアレンジ

- ・時期；9月16日
- ・従事者；5人
- ・支出額；6,607円

②函嶺白百合学園高等部英語授業参観

- ・時期；5月14日
- ・場所；箱根強羅函嶺白百合学園
- ・従事者；1人
- ・支出額；0円

4. その他の活動

1) 組織の拡大と整備及び財務基盤の強化

- ・認定NPO法人として持続性と公共性ある事業展開のための望ましい組織の姿を追求
- ・役員の実任体制明確化と女性協力者の増員（世代交代を考慮）
- ・新組織ヌーベルバーグの発足
時期；10月9日
場所；本部
実行委員長；秋本理事、副実行委員長；笠原会員／井原会員
特別参加ゲスト；駐日ナミビア共和国大使館の外交官 男女2名
参加者人員；20人
- ・小中高大学生によるボランティア組織 SPLASH の発足
- ・事業の拡大に伴う各地域での「地域代表」委嘱で機能的な事業展開
- ・新規ボランティアの獲得のための SNS を使った活動
- ・会員の拡大による組織及び財政基盤強化の取り組み継続
- ・『AIMEC 総合マニュアル』の発刊

2) 広報宣伝活動

① 従来の広報活動

- ・AIMEC ホームページの随時更新に加え、ツイッターやフェイスブックで情報発信
- ・新規 SNS 活用による広報活動の展開
- ・年度末の「2022 年度活動報告」の発行
- ・従事者；6人

- ② スタンドバイ会員親睦会
 - ・時期；5月29日
 - ・場所；本部
 - ・参加者；会員35人、スタンドバイ15人
 - ・実行委員長；長島会員 副実行委員長；井原隼人会員／井原祥子会員

- ③ 清里にて講演実施
 - ・場所；山梨県清里ロイヤルホテル八ヶ岳
 - ・時期；9月7日
 - ・従事者；4人

- ④ 開成町セミナー開催 AIMEC 本澤会員のアレンジ
 - ・時期；9月10日
 - ・従事者；2人

- ⑤ 新規活動（TV出演）
 - ・時期；放映10月11日（取材8月）
 - ・内容；NHK E テレの番組『あるあるR調査団～こんなところにニッポンが!？』による取材と出演
 - ・従事者；6人

- ⑥ 公益財団法人（渋沢栄一記念財団）依頼による機関誌『青淵 883号』への寄稿（10月）
 - ・タイトル；～平和の輸出～
 - ・原稿料収入；3万円

●広報宣伝活動支出額；26,326円

<新聞記事掲載>

- ・東京新聞 2022年4月24日 「ウガンダで音楽教育を」
- ・東京新聞 2022年7月23日 「楽器寄贈活動に新たな風」
- ・東京新聞 2022年8月5日 「中学生が大使館で交流」

- ・朝日新聞 2023年1月25日 「日本から世界へ眠る楽器輝け」

○おわりに

コロナ禍にも拘らず可能な分野で積極的に活動を展開し一定の成果をあげることができたのは、新しく組織したヌーベルバーグと SPLASH による具体的な活動が実を結んでいることと、それを可能にした経験者のバックアップによるところ大である。今後とも世代交代を一層推し進め、機動的に動ける組織体制を確立していくことが必要である。また、AIMEC12年の活動の集大成である『AIMEC 総合マニュアル』の作成作業を継続的に行い、AIMECの一層の飛躍を期すこととしたい。